

事務事業名	雲南市シルバー人材センター補助事業		所属部	健康福祉部	所属課	健康福祉総務課
総合計画体系	政策名	〈Ⅲ〉支えあい健やかに暮らせるまち〈保健・医療・福祉〉		所属G	総務G	課長名 野々村 達志
	施策名	〈21〉高齢者福祉の充実		担当者名	板持 知世	電話番号 0854-40-1041 (内線) 2131
	目的・対象	65歳以上の市民	意図 生きがいをを持って、住み慣れた地域で安心して暮らす。	予算科目	会計 款 大事業 大事業名	地域福祉総務管理事業
	基本事業	〈062〉社会参加活動の推進			項 目 中事業 中事業名	雲南市シルバー人材センター補助金
目的・対象	65歳以上の市民	意図 地域とのつながりを持つ。				

1 現状把握【DO】

(1) 事務事業の概要

① 対象(誰、何を対象にしているのか)	② 意図(対象がどのような状態になるのか)
65歳以上の市民	生きがいをを持って、いきいきと暮らす(高齢者が就労を通して、健康で豊かな老後を送れるようにする)。
③ 事業内容(期間限定複数年度事業は全体像を記述)	
事業期間 <input type="checkbox"/> 単年度のみ <input checked="" type="checkbox"/> 単年度繰返 (H16 年度～) <input type="checkbox"/> 期間限定複数年度 (年度～ 年度)	高年齢者等の雇用の安定等に関する法律に基づき組織された(公社)雲南市シルバー人材センターが、就労の機会と場の提供を行うことにより、健康で豊かな老後の充実を図り、地域社会づくりに寄与することを目的に取り組む事業、活動に対して補助を行う。会員の労働で得た収入の大半は賃金として会員に支払われるため、運営に係る人件費等を国と市が補助している。また、間接支援として、会員・就業機会の拡大のための広報活動等の協力を行う。
④ 主な活動 R4年度実績(R4年度に行った主な活動) ・補助金交付 ・広報活動の支援	⑤ これまでの改革・改善経緯 (この事務事業に関してこれまでどのような改革改善をしているか?) 会員・就業機会の拡大につなげるため、広報誌掲載、文字放送の利用など、広報活動の支援に取り組んでいる。

(2) 事務事業の指標

成果指標	単位	R2年度(実績)	R3年度(実績)	R4年度(実績)	R5年度(計画)
ア 人材センター正会員数	人	436	454	466	466
イ 就業延人数	人	32,523	35,805	37,638	37,638
ウ 就業率	%	83.7	88.1	89.1	89.1
エ 作業契約金額	千円	194,807	205,085	226,758	226,758

(3) 事務事業のコスト

① 事業費の内訳 (R4年度決算)	② コストの推移	単位	R2年度(決算)	R3年度(決算)	R4年度(決算)	R5年度(計画)
事業運営に対する補助金:16,604千円(国と同額) 【財源:介護保険 保健福祉事業費負担金】	国庫支出金	千円				
	県支出金	千円				
	地方債	千円				
	その他	千円		8,002	8,302	8,045
	一般財源	千円	13,821	6,712	8,302	8,559
	事業費計	千円	13,821	14,714	16,604	16,604

2 事後評価【SEE】

① 事業実績における成果	会員数、契約金額ともに伸びており、多くの高齢者が元気に就労されている。貴重な労働力として活躍していただいている上に、医療や介護の費用抑制に大きく貢献していただいているものと考えている。
② 事業実施するうえでの課題	高齢化が進行する中、働く意欲のある高齢者の就業機会を提供することは、生きがいの創造や個人収入に繋がっており、今後も継続的な支援が必要である。また、令和5年10月からインボイス制度導入により、シルバー人材センターの会員の多くが免税事業者であるため、新たな経費負担が生じ、対応に追われている。
③ 課題解決に向けた改革改善等	会員増強及び就業拡大につながるよう、可能な範囲での支援を行う。また、インボイス制度の導入に関する諸課題の解決策についての要望等については、当該団体との意見交換を交えながら適切に対応していく。